

発表場所：国土交通記者会（資料配付）
国土交通省建設専門紙記者会（資料配付）
国土交通省交通運輸記者会（資料配付）
筑波研究学園都市記者会（資料配付）
発表日時：平成30年 7月30日（月）14時



平成30年7月30日
国土交通省国土地理院

オープンイノベーションで測定の生産性を向上！ ～UAV レーザ測量に関する技術開発を行う企業等を募集～

本日から、オープンイノベーション（さまざまな技術・アイデア・ノウハウ等を持ち寄りスピーディーに実装化を図る開発手法）により、樹木等があっても地表面の測量がある程度可能な UAV レーザ測量について、比較的短時間のうちに±5cm 以内の精度で測量可能な UAV レーザ測量機器や、データのフィルタリング処理を自動化するソフトウェアなどの技術開発に参加する企業等を募集します。

応募した企業等が開発した機器・ソフトウェア等については、別途、国土地理院が実施する実証実験により評価を行う予定です。

国土交通省では、建設現場の生産性向上に向け、測量・調査から設計、施工、維持管理に至る建設生産プロセス全体で ICT や 3D データを利活用する i-Construction を推進しています。国土地理院では、この i-Construction の取組の一環として、平成30年3月に「UAV 搭載型レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル（案）」を公表し、公共測量において UAV 搭載型レーザスキャナを活用するための環境を整えているところです。

今回、UAV レーザ測量の精度向上に資する技術開発に参加する企業等を募集し、新たな機器・ソフトウェアの開発を通じて UAV レーザ測量の精度向上、作業効率化による測量分野の生産性向上を目指します。

1. 応募内容

○応募テーマ：UAV レーザ測量の精度向上、作業効率化に資する技術開発

- ① UAV レーザ測量機器（レーザ測距装置、GNSS/IMU、UAV 機体）
- ② ソフトウェア全般

○受付期間：平成30年7月30日（月）～8月22日（水）17時まで（必着）

2. 実施方法

応募テーマに合致する提案のあった企業等を一堂に会してマッチングイベントを実施し、技術提案や意見交換を行い、開発チームを結成します。その後、開発チームごとに技術開発に取り組んでいただきます。開発した機器・ソフトウェア等については、別途、国土地理院が実施する実証実験により評価を行う予定です。

詳しくは「募集要領」（別添）をご覧ください。

※「マッチングイベント」とは

参画する企業等が UAV レーザ測量に関する技術のショートプレゼンテーションを行い、その後の企業等間の意見交換を通じてビジネスマッチングする合同のお見合いイベントです。

（問い合わせ先）

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番	国土交通省	国土地理院	
企画部 測量指導課	課長	出口 智恵	TEL 029-864-6691（直通）
	専門調査官	齋藤 俊信	TEL 029-864-1111（内線3129）
	技術専門員	土佐 智広	TEL 029-864-6527（直通）
			FAX 029-864-1658

背景

国土交通省では、建設現場の生産性向上に向け、測量・調査から設計、施工、維持管理に至る建設生産プロセス全体でICTや3Dデータを利活用する i-Constructionを推進

課題

- ◆建設生産プロセスの最上流である測量段階からデータの3D化を図り、これを設計、施工、維持管理の各段階に流通・利活用することが重要
- ◆UAVレーザ測量は、樹木等があっても地表面の測量がある程度可能であり、精度の確保された3Dデータを効率的に取得可能とするための技術開発を加速する必要

応募テーマ

UAVレーザ測量の精度向上、作業効率化に資する技術開発（詳細は「募集要領」（別添）をご覧ください。）

①UAVレーザ測量機器に求める要件イメージ

- ±5cm以内の精度及び取得点密度100点/m²以上を確保可能
- 平地で0.30km²の範囲の測量を40分以内で実施可能
- 植生繁茂地や傾斜地でも精度を確保可能 等

②ソフトウェアに求める要件イメージ

- できるだけ処理を自動化することで、3Dデータのフィルタリング処理を短時間で実施可能 等

